

会議名	第2回次期多摩市交通マスタープラン検討部会					
開催日時	令和7年10月20日(月)午後2時～午後4時					
開催場所	多摩市役所 本庁舎3階 301会議室					
会議次第						
議事 (1) オープンハウスの結果について (2) 多摩市交通マスタープラン(素案)について (3) パブリックコメントの実施について (4) 多摩市ミニバス再編について						
出欠席(敬称略)						
(1) 出席委員・7名(氏名( )内は代理出席者の氏名)						
No.	職名	氏名	検討部会構成委員			
1	部会長	吉川 徹	東京都立大学 都市環境科学研究科建築学域教授			
2	委員	橋山 英人	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部計画担当課長			
3	委員	三浦 裕介	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長			
4	委員	鈴木 健一	飛鳥交通ニュータウン株式会社 東京・神奈川地区担当 営業部長			
5	委員	山崎 龍男	小田急交通南多摩株式会社 本社営業所取締役所長			
6	委員	小野 賢治	京王自動車株式会社 運輸事業本部運輸事業本部長			
7	委員	小柳 一成	多摩市都市整備部長			
(2) 欠席委員・0名						
(3) 傍聴者・0名						
(4) 事務局・3名(多摩市都市整備部交通対策担当課長・道路交通課交通係) 2名(株式会社ケー・シー・エス)						

## 会議要点録

### 1 開会

事務局が配布資料の確認を行った。

### 2 部会長挨拶

部会長が開会の挨拶を行った。

### 3 議事

#### (1) オープンハウスの結果について

事務局

・資料に基づいて事務局より説明を行った。

質疑なし

吉川部会長

- ・来場者数が多く、たくさんの方々に关心を持っていただいている状況である。
- ・路線バスを守ってほしい、ミニバスを守ってほしいなどの意見が多く、今後の取組の参考にしていきたい。

#### (2) 多摩市交通マスタープラン（素案）について

事務局

・資料に基づいて事務局より説明を行った。

質疑応答

山崎委員

- ・自社無線による配車を行っているが、その本数は減少しており、アプリ配車への移行が進んでいる。その結果、無線で呼び出してもタクシーがアプリ経由の配車に取られてしまい、利用できないケースもある。
- ・啓発用のチラシ等を作成する際には、アプリを通じてタクシーを利用できることを周知していただきたい。

事務局

・乗り方に関しては、タクシーはもちろんのこと、バスについても啓発が必要であると考える。これまで自治体として、広報等を通じた周知が十分に行われてこなかったので、広報枠の確保に向けた取り組みを進めていきたい。計画の中に啓発策を盛り込むとともに、実際の取り組みにおいても積極的に実施していきたい。

広報枠が確保でき次第、内容については個別に調整を行いながら進めていく。

#### 吉川部会長

- ・バスについても、現在は位置情報等を活用した運行管理が行われているが、高齢者などの主要な利用者層がその仕組みに対応できなければ、仕組みが形骸化する恐れがある。したがって、主要な利用者層が新しい技術に円滑に移行できるよう啓発していく必要がある。
- ・また、こうした技術が主要な利用者層に浸透することで、運転手が個別に説明する手間が省けるという利点もある。

#### 橋山委員

- ・今後、交通ネットワークや地域密着型交通を検討するにあたり、デマンド交通やライドシェアの可能性についても考慮すべきであり、これらを完全に否定すべきではないと考える。
- ・また、P34に記載されている主要幹線軸の運行本数については、目標値を「維持」とされているが、維持可能かどうかは不透明な状況である。特に、主要幹線の本数で表記されている点については、バスは減便傾向にあるため、現実的には厳しいと考える。そのため、実態に即した指標に変更する方が適切ではないか。

#### 事務局

- ・デマンド交通については、その可能性を完全に否定するものではない。今回のオープンハウスにおいてもデマンドはどうかといった意見が寄せられている。そのため、市としての考え方を整理し、今後の状況次第で、柔軟に対応できるようにしておくようにしたい。
- ・指標と目標については、ご指摘いただいた点も考慮し、再度検討したい。

#### 小柳委員

- ・現計画においては、安全や安心が目標として掲げられているが、次期の計画では安全や安心という視点が欠落している。安全や安心は公共交通における大前提であることから、例えば基本理念の最後の行に安全・安心な公共交通で移動できるといった表現を加えるなど、文言として盛り込むべきであると考える。

#### 事務局

- ・安全・安心については、確かに大前提であるため、加える方向性で検討したい。

#### 山崎委員

- ・P35 高い安全性を備えた自転車の供給体制の整備とあるが、ここでいう高い安全性とは具体的に何を指すのか確認したい。

**事務局**

- ・自転車活用推進法からの引用であるが、その背景については確認が必要である。

**山崎委員**

- ・P35 シェアサイクルに関しては、市が用意するのか伺いたい。

**事務局**

- ・多摩市においては自転車やポートは事業者が用意し、市は公共用地の設置場所を提供している。

**吉川部会長**

- ・自転車活用推進法の目的を書いていると、市がやるものだと思われてしまう懸念があるため、過去の計画を引き継いだと分かるように書いた方が良いと思われる。

**事務局**

- ・記載するかも含め、検討する。

**(3) パブリックコメントの実施について**

**事務局**

- ・パブリックコメントについての説明を行った。

質疑なし

**(4) 多摩市ミニバス再編について**

**事務局**

- ・多摩市ミニバス再編についての説明を行った。

質疑なし

**(5) 閉会**

以上